

いんふおめーしょん こうせい

地域の救急診療を担う使命感が原動力
患者さんを救う最前線・救命救急センター

2025年

春号

No.128

ご自由に
お取りください



救急科(医師・救急救命士)



Index

P2 特集 チームでつなぐあなたの健康 救命救急センター

P4 New Uniform Snap

P6 連携医紹介 ■深津医院 ■さわやか内科クリニック

P7 医療のことば事典 ■透析治療 ■CE(クリニカルエンジニア・臨床工学技士)

P8 News&Topics

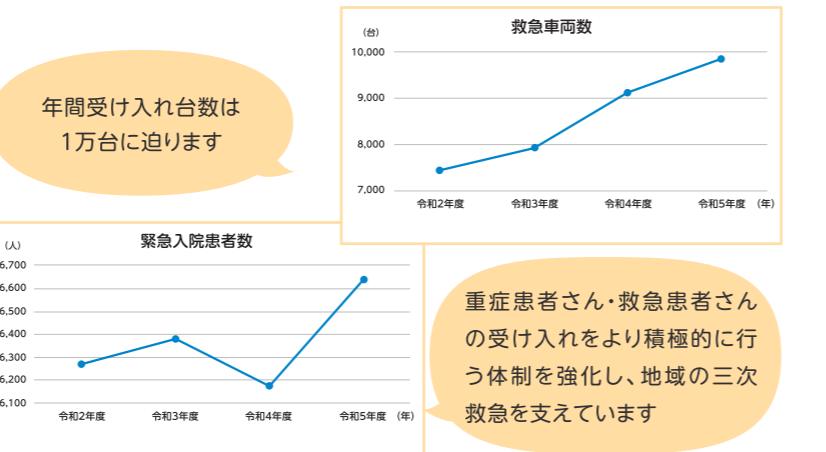
「命を救う」という
搖るぎない使命感

File.
04

救命救急



救命救急センターでは、救急科医師4名・救命救急士2名・専従看護師15名を中心、各科医師・薬剤師・臨床検査技師・事務員を含めたあらゆる職種の協力のもと、24時間体制で救急診療にあたっています。平日の日中は救急車対応を、夜間・休日には救急車はもちろん、救急車以外の緊急受診患者さんの診療も行っています。重症患者さんを救うことこそが救命救急センターの最も重要な役割であり、そのことを仕事のやりがいと感じてスタッフは日々励んでいます。



早期退院・転院搬送にご協力ください

当院では手術・検査目的といった予定入院に加えて、救急入院を積極的に受け入れています。そのため病床が満床となってしまうことがあります。地域の皆様方が緊急入院を必要とする場合、可能な限り対応することが当院の大きな役割です。より重症な救急患者さんを受け入れるために、状態が落ち着いた入院患者さんには、早期退院や他施設への転院搬送をご依頼する場合があることをあらかじめご了承ください。



チームでつなぐ

あなたの健康

病気のためにではなく“人”的ために

センターは西三河南部西医療圏における第三次救急医療を担い、
篠な救急患者さんを24時間体制で受け入れています。



迅速な対応のためには、多職種間の円滑なコミュニケーションが欠かせません。



救命救急センターに来院される患者さんは、急性または慢性的に生じた傷害によつて苦痛や不安を伴つてゐる方が多く、また、生死に関わるような深刻な状態で搬送されてくる方もいます。

看護師は、医師と連携して優先度の高い検査や治療を行い、早急な原因検索と症状緩和に努めています。また、患者さんやご家族の不安な思いや訴えを傾聴してそれぞれの気持ちに寄り添うことや、医師からの説明後に確認・補足をして、適切な情報を提供する重要な役割も担つています。

救急医療は医の原点と言われ、その本質は緊急性の高い患者さんに一刻も早く救命処置を施すことがあります。急速な医療の細分化・高度化に伴い、専門領域以外の進歩を常に把握することはもはや不可能であるにも関わらず、救急領域に専従するスタッフ不足から医師は専門領域以外の救急患者さんに対応することが求められます。

A portrait of a male medical professional, likely a dentist, wearing dark scrubs and a stethoscope. He is smiling and looking slightly to his left. A white dental chair is visible in the foreground. A round clock is mounted on the wall behind him.



救急車の適正な



について、「ご家族やかかりつけ医と相談しておくる」ことが一助となります。

胸が痛く冷や汗が出る・意識がおかしい・急に動けなくなつたなど、「自身あるいはご家族が緊急事態を感じた場合には、ためらわずに救急車を呼びましょう。一方、軽微な出血・咳や鼻水といった症状で救急車を利用することは望ましくありません。これらは極端な例であり、判断に迷うことがあるかもしれません。あくまで一つの目安ですが、「いつもと明らかに違う状態」は救急車を呼ぶ判断基準といえます。またあらかじめ「どんな時に救急車を呼ぶのか」

救急車の適正な
利用をお願いします

- 現在は2名の救急救命士が在籍しています。主な業務内容は以下のとおりです。
- 重度傷病者に対する救急救命処置
- 救急隊からの患者さん受け入れホットライン電話応需
- 医師・看護師のサポート業務
- 病院車両を使い状態が安定した患者さんを他医療機関に搬送する連携搬送
- I C L S ・ J P T E C など救急処置に関する講習会などの指導

業務のタスクシフト・タスクシェアを行い、医師・看護師が本来行う業務により専念できる環境を目指しています。

現在は日勤帯2名で活動していますが、将来的にD M A T 隊員や医師事務作業補助者などの資格を取得し、さらにタスクシフト・タスクシェアを拡大していきます。そして人員拡大や救急救命士専門部署の

急救救命士



デイケアやショートステイなどを提供しています。
①リハビリ技師 ②介護スタッフ ③看護師 ④相談員・事務職・管理栄養士



レントゲン検査や放射線治療に携われます。
治療に欠かせない薬剤の調合や患者さんへの服薬指導を行う、薬の専門家です。



医師や医療スタッフと連携し、診療補助や患者さんのサポートをしています。



40診療科に所属する200名以上の医師が、病気に立ち向かうために働いています。



高齢福祉 事業部

かかりつけ医と連携し、地域での療養生活を支えます。(訪問看護師・訪問看護ステーションスタッフ)

(左)更生介護保険センター
(右)地域包括支援センター更生

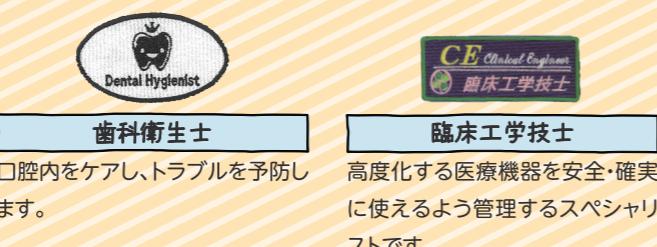


装いを新たに頑張ります。病院で見かけたら、お気軽にお声がけください♪

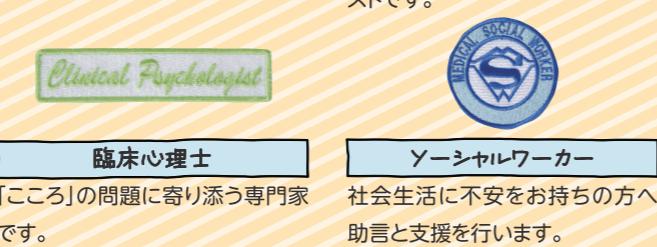
(左)ケアプランを作成し、介護サービスの利用支援を行います。 (右)高齢の方の生活に関する総合的なご相談に応じています。



ワッペンが目印です
理学療法士・作業療法士
言語聴覚士
リハビリで身体機能を改善します。



Dental Hygienist
口腔内をケアし、トラブルを予防します。



Clinical Engineer
高度化する医療機器を安全・確実に使えるよう管理するスペシャリストです。



Clinical Psychologist
「こころ」の問題に寄り添う専門家です。

Social Worker
社会生活に不安をお持ちの方へ助言と支援を行います。



受付や総務など病院の事務を一手に担う縁の下の力持ちです。



患者さんが食べやすいように工夫した、おいしい病院食を作っています。



病院全体にエネルギーが適切に供給されるよう管理します。



患者さんの案内など、医師や看護師をバックアップします。

2025
Renewal!

Anjo Kosei
Hospital

New Uniform Snap

4月より病院スタッフのユニフォームが新しくなりました! 新たな装いで気持ちをフレッシュに、日々業務にあたっていきます。



連携医紹介



安城更生病院は、地域医療支援病院として地域の医院やクリニックと連携し、皆さまの健康を守っています。
日常の健康管理やちょっとした体調の変化など、連携医に気軽にご相談ください。

安城市

深津医院

何でも気軽に相談できる
医院を目指して

当院は大正時代に私の曾祖父が
安城市東端町に開院し、2024
年4月より私が4代目の院長とし
て引き継ぎました。現在は先代の父
とともに地域のかかりつけ医として
内科全般の診療を行っています。

内科一般に加えて、それぞれの専
門である呼吸器内科、腎臓内科の
専門疾患も診療しており、健診異
常の精査から喘息、COPD(慢性
閉塞性肺疾患)、睡眠時無呼吸症候
群、慢性腎臓病などの慢性疾患の
通院治療にも力を入れております。

私自身は初期研修から含め合計
15年間安城更生病院に勤務させて
いただき、また父は八千代病院や
碧南市民病院に勤務経験があり、
必要時には近隣の総合病院と連携
を取りさせていただいています。何か
お困りの際の最初の窓口として安
心して相談していただける医院とな
れるよう引き続き取り組んでま
ります。



安城市東端町天白14-2 ホームページ▶
TEL 0566-45-7205



■診療科目：内科・腎臓内科・呼吸器内科
■休診日：木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00-18:00	○	○	○	/	○	/	/

知立市

さわやか内科クリニック

健康寿命の伸延を目指す
地域医療に貢献します

当院は2018年12月に知立市
谷田町に開院し、糖尿病、内分泌疾
患、内科全般の診療を行っています。
糖尿病診療では毎日検査と病型
診断を行い、迅速かつ丁寧に説明を
行うよう心がけております。体組
成計を用いた筋肉・脂肪・水分量の
測定と甲状腺エコーによる診断と
治療を行い、必要に応じて病診連
携をとさせていただいております。

内科全般の診療では高血圧、脂
質異常症をはじめ、更年期症候群、
骨粗鬆症、大血管疾患慢性期フオ
ロー、がん医療連携等を行っており、
お気兼ねなくご相談いただければ
幸いです。



知立市谷田町西1-14-4 ホームページ▶
TEL 0566-91-1114



■診療科目：糖尿病内科、内分泌内科、内科
■休診日：木曜午前、土曜午後、日曜、祝日

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00-12:00	○	○	○	/	○	○	/
15:30-18:30	○	○	○	○	○	/	/

透析治療



透析とは、腎機能が低下した状態にある患者さんに、体内から老廃物や余分な水分を取り除く療法です。透析治療は「腹膜透析」「血液透析」の2種類があり、それぞれメリット・デメリットがあります。

●腹膜透析

透析液を交換する必要があり、透析物品の置き場も必要になるというデメリットがあります。

●血液透析

透析液を取り出すためのシャント(血液を取り出すための血管)を作成し、血液を体外に取り出し、透析器を介して余分な水分や老廃物を取り除き、必要な物質を補充して、綺麗になつた血液を体内に戻す方法です。

医療従事者が医学的なケアをするため、安心して行なうことができる点がメリットです。一方、患者さん本人、またはご家族が在宅で行なうことができるため、生活リズムに合わせて行なうことができる点がメリットです。

患者さん自身やご家族の生活を考慮したうえで、医療従事者と話し合いながらそれぞれの特徴を生かした選択をしていきます。



患者さん自身やご家族の生活を考慮したうえで、医療従事者と話し合いながらそれぞれの特徴を生かした選択をしていきます。

医療のことば事典

聞いたことはあるけれど…
そんな医療の言葉を、当院の専門スタッフが分かりやすく解説!

C E

(クリニカルエンジニア)
—臨床工学技士—



▲左はCEが行うことの多いスコピスト(内視鏡を操作して術者が意図する映像をモニターに映す役割)。



新生児回復室の音楽会! ピアノとバイオリンに手拍子♪

今年度、新生児センター内はFCC*の充実を目指しています。その一環でセンター内のGCU(新生児回復室)エリアにリトミック講師をお呼びして、音楽会を開催しました。音楽でお子さんとご家族が一緒に楽しく過ごすことで、親子の絆を深めてもらえばと考えています。

*Family centered care…周産期・小児医療における患児・家族中心のケア



学術交流会で強まる、多職種の絆

多職種が交流し、病院全体をより良くしていく風土を大切にする取り組みとして「学術交流会」を実施しています。今回は1月28日～30日の3日間で開催。「～“知ること”から紡ぐチームの力～」をテーマに、さまざまな部署がポスター・ブース展示や口述発表に挑戦。お互いの良い取り組みを共有し、多職種への理解を深めることができました。



安城更生病院の 理念

- 医療を通じて地域住民の健康と幸福に寄与します。
- 患者中心の医療をあらゆる活動の原点とします。
- 職員が誇りと喜びを持って働く職場を目指します。

● 基本方針

1. 西三河南部地域における高度急性期医療を担う基幹病院として、救急医療・がん診療・災害医療・周産期医療の充実を図ります。
2. 安城市的市民病院的役割を担うとともに、地域の医療・保健・福祉（介護）の中心的役割を果たし続けます。
3. 教育病院として学術・研究に勤しみ、人材育成するとともに、地域や医療従事者の教育に従事し、高度医療提供を支えます。
4. 地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、行政・地域医師会・地域医療機関と協力し、地域連携と機能分化を推進します。
5. 病院の機能を十分に發揮するため、人材を確保し、働き方改革を推進するとともに、医療DXの導入を検討します。

感 染 症 対 策 の お 願 い

病院内では周囲の方に感染を広げないために引き続きマスク着用にご協力ください。

いんふおめーしょん こうせい

2025年春号 No.128

発行責任者／病院長 度会正人

編集協力／株式会社エンカウント

発行日／2025年4月1日

発行／安城更生病院 広報委員会

JA愛知厚生連
安城更生病院

〒446-8602 愛知県安城市安城町東広畔28番地

TEL 0566-75-2111 <https://anjokosei.jp/>

HP

インスタグラム



ANJOKOSEI.HOSPITAL

がんの怖さ、知っていますか? 中学生へ「がんの授業」を実施

1月30日に、安祥中学校でがんに関する授業を行いました。講師は緩和ケア内科代表部長・医療安全管理部長を務める足立康則医師。実際の医師による講演を通して、がんに関する理解を深めるとともに、より当院を身近に感じていただき「未来の医療人の育成」にもつながっていくことを願っています。



外来糖尿病教室のお知らせ

場所:第13会議室(南棟2階)

日時:毎月第2木曜日

14:00～15:00

どなたでも予約不要でご参加可能です。直接会議室へお越しください。

4月10日

神経合併症について
(脳神経内科医師)

5月 8日

食事療法について(管理栄養士)

6月12日

糖尿病における皮膚疾患
(皮膚科医師)

※()内は担当者です。

終末期がん治療と栄養 ～最期の日に何を食べたいですか?～

場所:第1講堂(本棟2階)

日時:5月15日(木)

13:00～14:00

講師

医師(緩和ケア内科)
沖 哲